

ります。

●吉富少尉といふ方は、朝早くから、斥候となつて、敵情を偵察し、やがて、本隊に歸ろうとしました所が、敵は向う岸から之を見付けて、雨敵の様に鐵砲をうちかけました。其中、一つの丸は、ビューツと風を切つて飛んで来て、少尉の腹の真中に當らうとしたが、此時、少尉は、呼子の笛を胸に下げて居るので、丸は、其呼子に當つた爲め深く腹を打ち貫かないで、僅擦り傷で済んだといふ事です。

●又、某師團の一兵が、合戦の真最中、頭を下げて鐵砲に丸をこめようとして居る所へ、忽ち敵の撃ち出した大砲の丸の彈片が飛んで来て、見事、背負つて居た背囊に當りましたが、引き續いてバラ／＼ツバラ／＼ツと幾つとなく、砲彈を受けて

暫くの間に背囊は丸で、蜂の巢の様に穴だらけになりましたが、而し其お蔭で、此兵士の身體には少しも、傷を受けなかつたといふ事です。

●之もよく似たお話し、一兵が戰爭中、敵の丸を受けたが、其丸は左の手と胸との間を通過して、背囊の片端をうちぬき、其中に入れて有つたお辨當を打ち破つたけれど身體には少しも傷がつかなかつたといふ事です。

面白い問答

ある處で、商賣人と、船頭とか出遭て、いろ／＼お話をして居りました序に、次の様な問答が始まりました。

商人：時に、お前さんのお父さんは、どこでお失くなりしました

船頭「海に落ちて溺れ死にましたよ」

商人「お祖父さんは、どこで」

船頭「お祖父さんも、其次のお祖父さんも、みんな海で死にました」

商人「やれ〜、そんなに皆さんが、海で死んだのに、お前さんはよく、平気で海に出られますね」

船頭「時に、あなたのお父さんは、どこでお失くなられたのですか」

商人「まあ、仕合はせと、床の上で死にましたよ」

船頭「お祖父さんは、商人「お祖父さんも曾祖父さんも、皆床の上で死にましたよ、ハイ」

船頭「やれ〜そんなに皆さんが、揃ひも揃つて床の上でお死になされたに、あなたは、よくま

あ、平気で毎晩、寢床に寝て居られますね

## 二つの鋳

或る日一人の農夫が、鍛冶屋で鋳を二丁買ってきました。そして一丁は、毎日田や畑へ持つて使ひましたが、他の一丁は使はずに買つて来たまゝ、壁にかけて置きました。其から八九個月して此の二丁の鋳を較べて見ましたら、始終使つて居る方は、ピカ〜光つて綺麗でしたが、使はずに壁にかけて置いた方は、錆だらけで汚なくなつて居ました。

## 法螺國通信

ふくべ、こまを

さて、何から前に御通信申し上げて宜しく候哉、常國に参り候ては、まことに珍らしき事ばかりに